

R3.12.22 安定・効率輸送協議会(3部会合同会合)

# 【資料6】 内航海運の生産性向上に向けた 調査事業について

---

内航海運事業者の生産性向上を図り、強い内航海運への変革を促進するため、新技術の活用や運航・経営効率化といった、内航海運の新たな事業モデルを実際に検証し成果を優良事例として業界全体に共有する。

## モデル事業の例

- AIを活用した配船の効率化
- 複数荷主・事業者の連携による共同輸送
- 省エネ運航の促進
- 船舶管理会社の活用 等

## ○全体計画（スケジュール）

令和3年度

☑法令・制度改正    ☑8月：暫定措置事業の終了

令和4年度

### 【先導的モデル事業の実施と事例集の作成・周知】

- ☑課題解決のための新たなモデル事業を検討
- ☑効果検証が適切であるモデル事業実証方法の検討・確立
- ☑実証に係る関係者との事前調整

- ☑関係者によるモデル事業実施
- ☑モデル事業の事例集作成
- ☑セミナー等開催による周知

業界全体へ横展開を図り、「強い内航海運」へ変革